

САМЫЕ ЛУЧШИЕ ЯПОНСКИЕ СКАЗКИ

с произношением



Издательство АСТ
Москва

УДК 811.521(075.4)

ББК 81.5Япо-93

С17

С17 **Самые** лучшие японские сказки с произношением / адаптация текста и составление словаря Т. Б. Резниковой, М. С. Прохоровой. — Москва : Издательство АСТ, 2023. — 224 с. — (Учимся читать с транскрипцией).

ISBN 978-5-17-132759-0

В книгу вошли народные японские сказки «Ледяная жена», «Легенда о принцессе Акоя», «Молодильная вода» и др.

Тексты сказок подготовлены для начального уровня владения японским языком и снабжены транскрипцией. В конце книги есть небольшой японско-русский словарь.

Издание предназначено для всех, кто начал или продолжает учить японский язык и стремится читать по-японски.

УДК 811.521(075.4)

ББК 81.5Япо-93

ISBN 978-5-17-132759-0

© Резникова Т. Б., Прохорова М. С.,
адаптация текста словаря, 2022

© ООО «Издательство АСТ», 2022

momotarō

桃太郎

aru hi obā san ga kawa e itte kimono o
ある日 おばあさんが 川へ行って、 着物を

sentaku shiteimashita suru to kawakami kara momo ga
洗たくしていました。 すると 川上から 桃が

nagaretekimashita
流れてきました。

oya mezurashī konna tokoro ni momo ga
「おや、 めずらしい。 こんな所に 桃が

nagaretekita
流れてきた。」

to hitorigoto o itte obā san wa momo o
と独り言を 言って、 おばあさんは 桃を

mochikaerimashita sono ban ojī san ga yama kara
持ち帰りました。 その晩 おじいさんが 山から

ie ni kaettekuru to obā san wa kawa de momo o
家に 帰ってくると、 おばあさんは 川で 桃を

misemashita ojīsan ga momo o te ni torō to shita toki
見せました おじいさんが 桃を 手に取ろうとした時、

sono momo ga furuedashimashita
その桃が ふるえ出しました。

sono furue ga sukoshi zutsu hageshiku nari tsui ni
そのふるえが 少しずつ はげしくなり、 ついに

momo ga futatsu ni warete genki no yoi chīsa na
桃が 二つに割れて 元気の良い 小さな

otoko no ko ga detekimashita
男の子が 出てきました。

soshite otoko no ko wa momotarō to nazukerare
そして 男の子は 桃太郎と 名付けられ、

totemo taisetsu ni sodateraremashita
とても大切に 育てられました。

genki na tsuyoi otoko no ko momotarō wa mura de
元気な 強い男の子、 桃太郎は 村で

yūmei ni narimashita aru hi momotarō wa obā san to
有名になりました。 ある日 桃太郎は おばあさんと

ojī san ni oni taiji no tame onigashima ni
おじいさんに、 「鬼退治のため 鬼が島に

ittekimasu to īmashita
行ってきます。」 と言いました。

tsugi no hi no asa hayaku ojī san to obā san wa
次の日の朝早く おじいさんと おばあさんは

atarashī hakama to rippa na katana to kibidango o momotarō ni
新しいはかまと 立派な刀と きび団子を 桃太郎に

motasete miokurimashita onigashima ni iku tochū
持たせて 見送りました。 鬼が島に 行く途中

momotarō wa obāsan ga tsukutta kibidango o
桃太郎は おばあさんが作ったきび団子を

michi de deatta inu ni agete kerai ni shimashita
道で出会った犬に あげて 家来にしました。

sono ato saru to kiji ni mo deatta node
そのあと さると きじにも 出会ったので、

ki bi dango o wakete agete kerai ni shimashita
きび団子を 分けて あげて 家来にしました。

kono kibidango ni wa obā san no aijō ga
このきび団子には おばあさんの 愛情が

haitteimashita

入っていました。

desukara

momotarōtachi wa

kore o taberu to

ですから

桃太郎達は

これを食べると、

jūnin bun no chikara o

motsu yō ni narimashita

十人分の力を

持つようになりました。

genki ippai no momotarō to

sono nakama wa

fune ni notte

元気いっぱいの桃太郎と

その仲間は

船に乗って、

onigashima ni

ikimashita

鬼が島に

行きました。

onigashima ni wa

ōki na

kuroi mon ga

arimashita

鬼が島には、

大きな

黒い門が

ありました。

saru ga

mon o

don don to tataki

inu ga

さるが

門を

どんとどんとたたき、

犬が

wan wan to hoete

わんわんと吠えて、

momotarō ga kitazo

「桃太郎が来たぞ。

momotarō ga kitazo

桃太郎が来たぞ。」

to ōki na koe de

と大きな声で

īmashita

言いました。

suru to

すると

totsuzen

突然

mon ga hiraki

門が開き、

akai oni ga

赤い鬼が

detekimashita

出てきました。

oni taiji ni kita zo

「鬼退治に来たぞ。」

to momotarō ga

と桃太郎が

iu to

言うと、

akai oni wa

赤い鬼は

mon no naka ni

門の中に

haitte

入って

nigeteshimaimashita

逃げてしまいました。

saru to

さると

inu to

犬と

kiji to

きじと

momotarō wa

桃太郎は、

akaoni o

赤鬼を

oikakemashitaga

追いかけてましたが、

akaoni wa

赤鬼は

doko ka e

どこかへ

kieteshimaimashita

消えてしまいました。

dare ni mo makenai

だれにも負けない

chikaramochi no

力持ちの

momotarō wa

ももたろうは、

chikara o tsukatte

力を使って

tatakaimashita

戦いました。

inu wa

犬は

kamitsuki

かみつки、

сарu wa

さるは

hikkaki

ひっかき、

kiji wa

きじは

kuchibashi de

くちばしで

oni no me o

鬼の目を

tsutsukimashita

つつきました。

takusan no oni ga

たくさんの鬼が

imashitaga

いましたが、

mina

皆

momotarō to

桃太郎と

sono nakama ni

その仲間に

sugu

すぐ

oidasaremashita

追い出されました。

saigo ni

最後に

oni no shōgun wa

鬼の将軍は

inochi o

「命を

tasuketekudasai

助けてください。

sō sureba

そうすれば、

takaramono o

宝物を

zenbu

全部

agemasu soshite shinu made kesshite warui koto wa
あげます。 そして、 死ぬまで 決して 悪いことは

shimasen to yakusoku shimashita momotarō wa yoshi
しません。」 と約束しました。 桃太郎は 「よし。

omae o shinjiyō to īmashita soshite
おまえを 信じよう。」 と言いました。 そして、

momotarōtachi ga fune ni notte kaerō to suru to
桃太郎たちが 船に乗って 帰ろうとすると、

oni no shōgun wa iki o mune ippai ni sutte fune no ushiro kara
鬼の将軍は 息を 胸いっぱい吸って、 船の後ろから

fukikaketa node momotarōtachi wa ie e
吹きかけたので、 桃太郎たちは、 家へ

hayaku kaeru koto ga dekimashita
早く帰ることができました。

wakagaeri no mizu 若返りの水

mukashi aru tokoro ni ojī san to obā san ga
昔 あるところに おじいさんと おばあさんが

sundeimashita aru atsui natsu no hi ni ojī san ga
住んでいました。 ある暑い夏の日 おじいさんが

yama e nobotteiku to tochū de taihen nodo ga
山へ登って行くと、 途中で 大変 のどが

kawaitekimashita doko ka ni mizu ha nai ka to
かわいてきました。 どこかに 水はないかと

atari o mimawashitemiru to totemo kirei na mizu g
辺りを 見回してみると、 とてもきれいな水が

nagareteiru kawa ga arimashita
流れている 川が ありました。

ojī san ga sono mizu o nomu to totemo oishikute
おじいさんが その水を飲むと、 とてもおいしくて

karada no naka ga taihen kimochiyokunarimashita
体の中が 大変気持ち良くなりました。

soshite ima made magatteita koshi ga
そして 今まで まがっていた こしが

massugu nobite shiwa mo sukunaku nari
まっすぐ伸びて、 しわも少なくなり、

rippa na wakamono ni narimashita ojī san ga
立派な若者になりました。 おじいさんが

yorokonde ie ni kaeru to obā san wa taihen odoroitte
喜んで家に帰ると、 おばあさんは 大変おどろいて、

mā , ojī san dōshite
「まあ、おじいさん。 どうして

sonna ni wakaku natta no desu ka to tazunemashita
そんなに若くなったのですか。」 とたずねました。

ojī san wa yama no naka no chīsa na kawa no mizu o
おじいさんは、 「山の中の小さな川の水を

nondara konna ni wakaku natteshimatta yo
飲んだら、 こんなに若くなってしまったよ。」

to sono wake o hanashimashita obā san wa
とその訳を話しました。 おばあさんは、

ojī san bakari wakaku natta node
おじいさんばかり 若くなったので、

urayamashiku to omotte watashi mo
うらやましくと思って、 「わたしも

sono mizu o nondekimashō ojī san
その水を飲んでみましょう。 おじいさん、

sono kawa e iku michi o oshietekudasai
その川へ行く道を 教えてください。」

to ojī san kara yama no yōsu o kuwashiku kiki
とおじいさんから 山のようすを くわしく聞き、

mizu no nagareteiru tokoro o osowatte tsugi no hi
水の流れているところを 教わって、 次の日

yama e dekakemashita tokoroga yoru ni nattemo
山へ 出かけました。 ところが、 夜になっても、

obā san wa ie e kaettekimasen
おばあさんは 家へ 帰ってきません。

obā san wa dōshita no darō ka
「おばあさんは、 どうしたのだろうか。」

to ojī san wa shinpai shite mura no hitotachi to issho ni
とおじいさんは 心配して、 村の人たちと一緒に

yama e obā san o sagashi ni ikimashita
山へ おばあさんを捜しに 行きました。

soshite mizu no nagareteiru tokoro made ittemiru to
そして 水の流れているところまで 行ってみると、

akachan no naku koe ga kikoemashita
赤ちゃんの泣く声が 聞こえました。

mina ga bikkuri shite sono koe no suru hō e iku to
皆が びっくりして その声のする方へ 行くと、

obā san ga akachan ni natte naiteimashita
おばあさんが 赤ちゃんになって 泣いていました。

obā san wa motto motto wakaku naritai to omotte
おばあさんは もっともっと若くなりたい と思って、

mizu o takusan nonda node wakaku narisugite
水を たくさん飲んだので、 若くなりすぎて、